

注3

大学番号：私立167

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

長野保健医療大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人四徳学園

令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画部

職名・氏名 キカクブチョウ 企画部長 トヨ 豊 タ 田 ユウ 雄 ソウ 三

電話番号 026-283-6111

(夜間) 026-283-6111

F A X 026-283-6122

e-mail toyota.yuzou@shitoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人四徳学園

(2) 大学名

長野保健医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒381-2227

長野県長野市川中島町今井原11-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キタザワ トシミ) 北澤 俊美 (平成24年3月)	—	
学長	(イワヤ ツトム) 岩谷 力 (平成27年4月)	—	
学部長	(イベ トシコ) 井部 俊子 (平成31年4月)	—	
学科長等	(イベ トシコ) 井部 俊子 (平成31年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80人 () []	—人 () []	80人 () []	—人 () []	1.04倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	167 () []	— () []	207 () []	— () []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	165 () []	— () []	206 () []	— () []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	109 () []	— () []	116 () []	— () []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	85 () []	— () []	82 () []	— () []			
入学定員超過率 B/A							1.06		1.02				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	85 (-)	- (-)	82 (-)	- (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	84 (-)	- (-)	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
4年次	/						/		/		- (-)	- (-)	- (-)
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()					[] (-)	[] (-)	85 (-)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	85 人	1 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)
令和2年度	166 人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		1 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{85} = \boxed{1.17} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2			
	心理学	1前	2									兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	文化人類学	1前		2								兼1
	哲学Ⅰ	1前		1								兼1
	哲学Ⅱ	1前		1								兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	信州学	1後		1								兼1
	音楽	1後		1								兼1
	異文化理解	1後		2								兼1
	保健ボランティア	1通	1					1				
	社会学	1前		2								兼1
	教育学	1後		2								兼1
	日本国憲法・法学	2前		2								兼1
	自然科学の基礎	1前		2								兼2
	情報リテラシー	1後		2								兼1
	体育(実技)	1前		1								兼1
	体育学	1後		1								兼1
	英語Ⅰ	1前				1						
	医学英語Ⅰ	1後				1						
	中国語	1後		2								兼1
	スペイン語	1後		2								兼1
	ハングル	1後		2								兼1
	英語Ⅱ	2前		1		1						
	医学英語Ⅱ	2後		1		1						
	英語Ⅲ	3前		1		1						
	医学英語Ⅲ	4前		1		1						
小計(28科目)	-											
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2									兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2									兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2						1			
	形態機能学Ⅲ	1後	1									兼3
	病理・病態生理学	2前	2									兼1
	薬理学・薬管理論	2前	2									兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2					兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2					兼10
	人間発達学	2前		2								兼2
	生命倫理	2後	1									兼1
	微生物・感染症学	1後	1									兼1
	疫学	2前		2								兼1
	保健統計学	2前		2								兼1
	総合医療論	1前	1									兼1
	健康社会学	2後	1									兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1						兼2
小計(16科目)												
専門科目	看護学概論	1前	1			1						
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1				兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2			
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1				
	遺伝看護学	3前	1				1					兼1
	看護教育論	4通	2						1			
	成人看護学概論	2前	2				1					

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2			
	心理学	1前	2									兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	文化人類学	1前		2								兼1
	哲学Ⅰ	1前		1								兼1
	哲学Ⅱ	1前		1								兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	信州学	1後		1								兼1
	音楽	1後		1								兼1
	異文化理解	1後		2								兼1
	保健ボランティア	1通	1					1	1		1	
	社会学	1前		2								兼1
	教育学	1後		2								兼1
	日本国憲法・法学	2前		2								兼1
	自然科学の基礎	1前		2								兼2
	情報リテラシー	1後		2								兼1
	体育(実技)	1前		1								兼1
	体育学	1後		1								兼1
	英語Ⅰ	1前				1						
	医学英語Ⅰ	1後				1						
	中国語	1後		2								兼1
	スペイン語	1後		2								兼2
	ハングル	1後		2								兼1
	英語Ⅱ	2前		1		1						
	医学英語Ⅱ	2後		1		1						
	英語Ⅲ	3前		1		1						
	医学英語Ⅲ	4前		1		1						
小計(28科目)												
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2									兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2									兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2								0	兼2
	形態機能学Ⅲ	1後	1									兼3
	病理・病態生理学	2前	2									兼1
	薬理学・薬管理論	2前	2									兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2					兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2					兼11
	人間発達学	2前		2								兼2
	生命倫理	2後	1									兼1
	微生物・感染症学	1後	1									兼3
	疫学	2前		2								兼1
	保健統計学	2前		2								兼2
	総合医療論	1前	1									兼1
	健康社会学	2後	1									兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1						兼2
小計(16科目)												
専門科目	看護学概論	1前	1			1						
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1				兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	1			
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1				
	遺伝看護学	3前	1				1					兼1
	看護教育論	4通	2					1		1		
	成人看護学概論	2前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2			1						
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1						
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1		
	急性・クリティカルケア論	3前		2						1		
	リハビリテーション看護論	3前		2							兼1	
	老年看護学概論	2前	2				1					
	老年看護学方法論	2後	2				1	1				
	小児看護学概論	2後	2				1					
	小児看護学方法論	3前	2				1			1		
	母性看護学概論	2後	2				1					
	母性看護学方法論	3前	2						1	1		
	精神看護学概論	2後	2				1					
	精神看護学方法論	3前	2				1			1		
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1				1			1		
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2				1			1	2	兼1
	在宅看護論概論	2後	2								兼1	
	在宅看護論方法論	3前	2						1			
	看護提供システム論	3後～4前	1				1					
	国際看護学	3後～4前		2				1				
	災害看護学	3後～4前	1					1				
	災害看護学演習	3後～4前	1					1				
	統合演習	4前	1				5	3	4	8		
	看護研究法	3後～4前	1					1				
	看護課題探求	4通	2				6	3	4	8		
	基礎看護技術実習	2前	1				5	3	3	4	1	
	看護展開論実習	2後	2				5	3	3	4	1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2					1		1	2	
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2							3	1	
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1	1		1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2					1	1		1	
	小児看護学実習	3後～4前	2					1		1	1	
母性看護学実習	3後～4前	2					1		1	1		
精神看護学実習	3後～4前	2					1			1		
在宅看護論実習	3後～4前	2							1			
統合実習	4後	2				4	3	4	7	3		
公衆衛生看護学概論	2後		2				1					
公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2				1			1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1					
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2				1					
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2				1			1		
	急性・クリティカルケア論	3前		2							1	
	リハビリテーション看護論	3前		2								兼1
	老年看護学概論	2前	2					1				
	老年看護学方法論	2後	2					1	1			
	小児看護学概論	2後	2					1				
	小児看護学方法論	3前	2					1			1	
	母性看護学概論	2後	2					1				
	母性看護学方法論	3前	2							1	0	
	精神看護学概論	2後	2					1				
	精神看護学方法論	3前	2					1			1	
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1					1			1	
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2					1			1	2
	在宅看護論概論	2後	2									兼1
	在宅看護論方法論	3前	2							1		
	看護提供システム論	3後～4前	1					1				
	国際看護学	3後～4前		2					1			
	災害看護学	3後～4前	1						1			
	災害看護学演習	3後～4前	1						1			
	統合演習	4前	1					5	3	4	7	
	看護研究法	3後～4前	1						1			
	看護課題探求	4通	2					6	3	4	7	
	基礎看護技術実習	2前	1					5	3	3	3	1
	看護展開論実習	2後	2					5	3	3	3	1
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2						1			1
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2						1		0	2
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2								3	1
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2						1	1		1
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2						1	1		1
	小児看護学実習	3後～4前	2						1			1
母性看護学実習	3後～4前	2						1		1	0	
精神看護学実習	3後～4前	2						1			1	
在宅看護論実習	3後～4前	2							1			
統合実習	4後	2					4	3	4	5	3	
公衆衛生看護学概論	2後		2					1				
公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2					1			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2					1			
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1			2	1		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1			2	1		
	ヒューマンケア論	1前	1			2						兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	3	1		
	IPW論	2前	1					1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			5	3	4	4			兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			5	3	4	4			兼4
	小計(54科目)	-										
合計(98科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目の選択科目から8単位、専門基礎科目の選択科目から2単位、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目13単位、さらに教養科目の選択科目2単位、専門基礎科目選択科目2単位を修得し、139単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2						1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2		1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3		1				2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2		1				2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1			2						兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1			3	2	1	2	1		
	IPW論	2前	1					1				兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1			5	3	4	4			兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1			5	3	4	4			兼4
	小計(54科目)	-										
合計(98科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
必修科目112単位、教養科目の選択科目から8単位、専門基礎科目の選択科目から2単位、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目13単位、さらに教養科目の選択科目2単位、専門基礎科目選択科目2単位を修得し、139単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	該当なし											
	小計(○科目)	-										
合計(○科目)												
卒業要件及び履修方法												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	該当なし											
	小計(○科目)	-										
合計(○科目)												
卒業要件及び履修方法												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	大学基礎セミナー	1前	1			2	2	1	2			
	心理学	1前	2									兼1
	アカデミックリテラシー	1前	1									兼1
	人間関係論	1前	1									兼1
	文化人類学	1前		2								兼1
	哲学Ⅰ	1前		1								兼1
	哲学Ⅱ	1前		1								兼1
	臨床心理学	1後	1									兼1
	信州学	1後		1								兼1
	音楽	1後		1								兼1
	異文化理解	1後		2								兼1
	保健ボランティア	1通	1				1			1		兼1
	社会学	1前		2								兼1
	教育学	1後		2								兼1
	日本国憲法・法学	2前		2								兼1
	自然科学の基礎	1前	2									兼2
	情報リテラシー	1後		2								兼1
	体育(実技)	1前	1									兼1
	体育学	1後	1									兼1
	英語Ⅰ	1前	1			1						
	医学英語Ⅰ	1後	1			1						
	中国語	1後		2								兼1
	スペイン語	1後		2								兼1
	ハンブル	1後		2								兼1
	英語Ⅱ	2前	1			1						
	医学英語Ⅱ	2後	1			1						
	英語Ⅲ	3前		1		1						
	医学英語Ⅲ	4前		1		1						
小計(28科目)												
専門基礎科目	代謝栄養学	1後	2									兼2
	形態機能学Ⅰ	1通	2							1		兼1
	形態機能学Ⅱ	1通	2									
	形態機能学Ⅲ	1後	1									兼3
	病理・病態生理学	2前	2									兼1
	薬理学・服薬管理論	2前	2									兼2
	病態・疾病治療論Ⅰ	2通	2			1	2					兼6
	病態・疾病治療論Ⅱ	2通	2			3	2					兼10
	人間発達学	2前		2								兼2
	生命倫理	2後	1									兼1
	微生物・感染症学	1後	1									兼1
	疫学	2前		2								兼1
	保健統計学	2前		2								兼1
	総合医療論	1前	1									兼1
	健康社会学	2後	1									兼1
	保健医療福祉行政論	2後	2			1						兼2
小計(16科目)												
専門科目	看護学概論	1前	1			1						
	基礎看護技術論Ⅰ	1前	2			1		1	1			兼1
	基礎看護技術論Ⅱ	1後	2					1	2			
	ヘルスアセスメント方法論	2通	2			1		1				
	遺伝看護学	3前	1				1					兼1
	看護教育論	4通	2			1			1			
	成人看護学概論	2前	2				1					
	成人看護学方法論Ⅰ	2後	2				1					
	成人看護学方法論Ⅱ	3前	2			1						
	成人看護学方法論Ⅲ	3前	2			1		1		1		
	急性・クリティカルケア論	3前		2						1		
	リハビリテーション看護論	3前		2								兼1
	老年看護学概論	2前	2				1					
	老年看護学方法論	2後	2				1	1				
	小児看護学概論	2後	2			1						
	小児看護学方法論	3前	2			1			1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	母性看護学概論	2後	2			1							
	母性看護学方法論	3前	2					1	1				
	精神看護学概論	2後	2			1							
	精神看護学方法論	3前	2			1				1			
	地域・在宅看護学Ⅰ	1前	1			1				1			
	地域・在宅看護学Ⅱ	3前	2			1			1	2			兼1
	在宅看護論概論	2後	2										兼1
	在宅看護論方法論	3前	2						1				
	看護提供システム論	3後～4前	1			1							
	国際看護学	3後～4前		2				1					
	災害看護学	3後～4前	1					1					
	災害看護学演習	3後～4前	1					1					
	統合演習	4前	1				5	3	4	8			
	看護研究法	3後～4前	1					1					
	看護課題探求	4通	2				6	3	4	8			
	基礎看護技術実習	2前	1				5	3	3	4	1		
	看護展開論実習	2後	2				5	3	3	4	1		
	成人看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1				1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後～4前	2				1			1	2		
	成人看護学実習Ⅲ	3後～4前	2							3	1		
	老年看護学実習Ⅰ	3後～4前	2					1	1			1	
	老年看護学実習Ⅱ	3後～4前	2					1	1			1	
	小児看護学実習	3後～4前	2				1				1	1	
	母性看護学実習	3後～4前	2				1		1	1			
	精神看護学実習	3後～4前	2				1				1		
	在宅看護論実習	3後～4前	2							1			
	統合実習	4後	2				4	3	4	7	3		
	公衆衛生看護学概論	2後		2			1						
	公衆衛生看護学Ⅰ	3前		2			1				1		
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		2							1		
	公衆衛生看護学Ⅲ	3前		2			1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		3			1				2	1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		2			1				2	1	
	ヒューマンケア論	1前	1				2						兼4
	ヒューマンケア体験実習	1前	1				3	2	1	3	1		
	IPW論	2前	1					1					兼1
	IPW演習Ⅰ	3前	1				5	3	4	4			兼4
	IPW演習Ⅱ	4前	1				5	3	4	4			兼4
	小計(54科目)	-											
	合計(98科目)	-											

卒業要件及び履修方法

必修科目112単位、教養科目の選択科目から8単位、専門基礎科目の選択科目から2単位、専門科目の選択科目から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目」の全科目13単位、さらに教養科目の選択科目2単位、専門基礎科目選択科目2単位を修得し、139単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 認可付帯事項(遵守事項)の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「保健ボランティア」の専任教員等の配置を令和元年度は「助教1」から「准教授1、助教1、兼任1」に、令和2年度以降「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・ 認可付帯事項(遵守事項)の助教単独からより職位の高い専任教員配置という理由により、「看護教育論」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1、助教1」に変更。

【令和2年度】

- ・ 認可付帯事項(遵守事項)で就任した兼任教員が令和2年度から専任教員になった理由により、「保健ボランティア」の専任教員の配置を「准教授1、助教1、兼任1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・ 兼任教員の本務の都合により、「スペイン語」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 兼任教員の本務の都合により、「病態・疾病治療論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、兼任10」から「教授3、准教授2、兼任11」に変更。
- ・ 兼任教員の辞任により、「微生物・感染症学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任3」に変更。
- ・ 兼任教員の本務の都合により、「保健統計学」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 専任教員の辞任の理由により、
 - ①「形態機能学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0、兼任2」に変更。
 - ②「基礎看護技術論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1、助教2」から「講師1、助教1」に変更。
 - ③「統合演習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師4、助教8」から「教授5、准教授3、講師4、助教7」に変更。
 - ④「看護課題探求」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、講師4、助教8」から「教授6、准教授3、講師4、助教7」に変更。
 - ⑤「基礎看護技術実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教4、助手1」から「教授5、准教授3、講師3、助教3、助手1」に変更。
 - ⑥「看護展開論実習」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師3、助教4、助手1」から「教授5、准教授3、講師3、助教3、助手1」に変更。
 - ⑦「成人看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を、「教授1、助教1、助手2」から「准教授1、助教0、助手2」に変更。
 - ⑧「ヒューマンケア体験実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教3、助手1」から「教授3、准教授2、講師1、助教2、助手1」に変更。
- ・ 専任教員の就任辞退の理由により、
 - ①「母性看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「講師1、助教0」に変更。
 - ②「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教0」に変更。
 - ③「統合実習」の専任教員等の配置を、上記専任教員の辞任と合わせて「教授4、准教授3、講師4、助教7、助手3」から「教授4、准教授3、講師4、助教5、助手3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
71 科目	27 科目	0 科目	98 科目	71 科目 [0]	27 科目 [0]	0 科目 [0]	98 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{98} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	7,718.75 m ²	m ²	m ²	7,718.75 m ²			
	運動場用地	1,387.02 m ²	m ²	m ²	1,387.02 m ²			
	小 計	9,105.77 m ²	m ²	m ²	9,105.77 m ²			
	そ の 他 (駐 車 場 等)	2,764.08 m ²	m ²	m ²	2,764.08 m ²			
	そ の 他 (ク リ ニ ッ ク 用 地)	653.23 m ²	m ²	m ²	653.23 m ²			
	合 計	12,523.08 m ²	m ²	m ²	12,523.08 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	11,734.73 m ² (11,734.73 m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	11,734.73 m ² (11,734.73 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	南館(看護学部)		
	5 室 (兼用1室含む)	10 室	3 室	— 室 (補助職員 人)	— 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			一部共同部屋		
	看護学部 看護学科		21 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体 図書に電子書籍3,704冊を含む(元) 図書に電子書籍829冊の増を含む(2)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					電子ジャーナル
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	看護学部	25,602 [171] 22,878 [-160] (24,124 [161]) (21,678 [130])	1,528 [4] 1,300 [-5] (1,451 [4]) (1,300 [-5])	1,505 [3] 1,296 [-] (1,505 [3]) (1,266 [-])	(191) (-131) (191) (-131)	4,399 4,322 (4,399) (-4,322)		125 111 (125) (-111)
計	25,602 [171] 22,878 [-160] (24,124 [161]) (21,678 [130])	1,528 [4] 1,300 [-5] (1,451 [4]) (1,300 [-5])	1,505 [3] 1,296 [-] (1,505 [3]) (1,266 [-])	(191) (-131) (191) (-131)	4,399 4,322 (4,399) (-4,322)	125 111 (125) (-111)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	633.52 m ²	142 134	40,000 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				南館敷地内		
	492.48 m ²	バスケットボールコート1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費の増額 (2)
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	3,800	2,500千円 2,000千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	155,000千円	2,194千円 3,000千円	3,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,600千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

長野保健医療大学											備考	
大学の名称	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
	保健科学部											
	リハビリテーション学科	4	80	-	320		1.06	1.01	-		長野県長野市川中島町今井原11-1	
	理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (理学療法学)	1.14	1.10	-	平成27	同上	
	作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	0.99	0.93	-	平成27	同上	
	看護学部											
	看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.04	1.03		令和元	長野県長野市川中島町今井原11-1	
	大学全体	-	160	-	640	-	1.06	1.02	-	-	-	
長野保健医療大学											備考	
大学の名称	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	井部 俊子 (72) <平成31年4月> 博士(看護学)	看護学概論 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論 ※	専	教授	井部 俊子 (72) <平成31年4月> 博士(看護学)	看護学概論 看護教育論 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論 ※	専	教授	井部 俊子 (73) <平成31年4月> 博士(看護学)	看護学概論 看護教育論 看護提供システム論 看護課題探求 ヒューマンケア論 ※
専	教授	坂口 けさみ (66) <平成31年4月> 博士(医学)	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	坂口 けさみ (66) <平成31年4月> 博士(医学)	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	坂口 けさみ (67) <平成31年4月> 博士(医学)	大学基礎セミナー 母性看護学概論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 母性看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	林 かおり (53) <令和2年4月> 博士(保健学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅲ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	林 かおり (52) <令和2年4月> 博士(保健学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅲ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	林 かおり (53) <令和2年4月> 博士(保健学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅱ ※ 成人看護学方法論Ⅲ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	樋貝 繁香 (48) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	樋貝 繁香 (48) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	樋貝 繁香 (49) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 小児看護学実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	川崎 千恵 (46) <平成31年4月> 博士(看護学)	保健医療福祉行政論 ※ 地域・在宅看護Ⅰ ※ 地域・在宅看護Ⅱ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論 ※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	川崎 千恵 (46) <平成31年4月> 博士(看護学)	保健医療福祉行政論 ※ 地域・在宅看護Ⅰ ※ 地域・在宅看護Ⅱ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論 ※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	川崎 千恵 (47) <平成31年4月> 博士(看護学)	保健医療福祉行政論 ※ 地域・在宅看護Ⅰ ※ 地域・在宅看護Ⅱ ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ ヒューマンケア論 ※ ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専	教授	奥村 信彦 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ	専	教授	奥村 信彦 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ	専	教授	奥村 信彦 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)	英語Ⅰ 医学英語Ⅰ 英語Ⅱ 医学英語Ⅱ 英語Ⅲ 医学英語Ⅲ
専	教授	田中 高政 (60) <令和2年4月> 修士(医科学)	病態・疾病治療論Ⅱ ※ 基礎看護技術論Ⅰ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	田中 高政 (59) <令和2年4月> 修士(医科学)	保健ボランティア 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 基礎看護技術論Ⅰ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ	専	教授	田中 高政 (60) <令和2年4月> 修士(医科学)	保健ボランティア 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 基礎看護技術論Ⅰ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 精神看護学概論 精神看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 精神看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	田中 高政 (59) <平成31年4月> 修士(医科学)	基礎看護技術論Ⅰ ※	兼任	講師	田中 高政 (59) <平成31年4月> 修士(医科学)	保健ボランティア 基礎看護技術論Ⅰ ※				

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	水崎 知子 (55) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 老年看護学概論 老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		宮越 幸代 (56) <平成31年4月> 修士(看護学)	大学基礎セミナー 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	准教授	鈴木 真理子 (55) <令和2年4月> 修士(看護学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 遠伝看護学 ※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		田淵 祥恵 (51) <平成31年4月> 修士(保健学)	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ ※ 基礎看護技術論Ⅱ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	桑原 良子 (44) <令和2年4月> 修士(看護学)	老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		横関 祐子 (57) <令和2年4月> 修士(人間科学)	成人看護学方法論Ⅲ ※ 地域・在宅看護学Ⅱ ※ 在宅看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	奥原 香織 (47) <令和3年4月> 修士(看護学)	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	水崎 知子 (55) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 老年看護学概論 老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		宮越 幸代 (56) <平成31年4月> 修士(看護学)	大学基礎セミナー 保健ボランティア 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	准教授	鈴木 真理子 (54) <令和2年4月> 修士(看護学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 遠伝看護学 ※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		田淵 祥恵 (51) <平成31年4月> 修士(保健学)	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ ※ 基礎看護技術論Ⅱ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	桑原 良子 (43) <令和2年4月> 修士(看護学)	老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		横関 祐子 (58) <令和2年4月> 修士(人間科学)	成人看護学方法論Ⅲ ※ 地域・在宅看護学Ⅱ ※ 在宅看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	奥原 香織 (45) <令和3年4月> 修士(看護学)	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	水崎 知子 (56) <平成31年4月> 博士(看護学)	大学基礎セミナー 病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 老年看護学概論 老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護研究法 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		宮越 幸代 (57) <平成31年4月> 修士(看護学)	大学基礎セミナー 保健ボランティア 国際看護学 災害看護学 災害看護学演習 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	准教授	鈴木 真理子 (55) <令和2年4月> 修士(看護学)	病態・疾病治療論Ⅰ ※ 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 遠伝看護学 ※ 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		田淵 祥恵 (52) <平成31年4月> 修士(保健学)	大学基礎セミナー 基礎看護技術論Ⅰ ※ 基礎看護技術論Ⅱ ※ ヘルスアセスメント方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 統合実習 ヒューマンケア体験実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	桑原 良子 (44) <令和2年4月> 修士(看護学)	老年看護学方法論 ※ 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
		横関 祐子 (57) <令和2年4月> 修士(人間科学)	成人看護学方法論Ⅲ ※ 地域・在宅看護学Ⅱ ※ 在宅看護学方法論 統合演習 看護課題探求 基礎看護技術実習 看護展開論実習 在宅看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
専任	講師	奥原 香織 (46) <令和3年4月> 修士(看護学)	母性看護学方法論 統合演習 看護課題探求 母性看護学実習 統合実習 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	岩谷 力 (76) <平成31年4月> 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	金物 壽久 (69) <平成31年4月> 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅱ ※ ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	松房 利憲 (69) <平成31年4月> 修士(人間科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	伊原 巧 (72) <平成31年4月> 教育学修士	異文化理解
兼任	教授	熊本 圭吾 (50) <平成31年4月> 博士(障害科学)	情報リテラシー
兼任	教授	大町 かおり (49) <平成31年4月> 博士(障害科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	中島 八十一 (68) <令和2年4月> 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	教授	福田 恵美子 (74) <令和2年4月> 博士(障害科学)	人間発達学 ※
兼任	准教授	宮脇 利幸 (59) <令和3年4月> 博士(保健学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	助教	山本 良彦 (58) <令和3年4月> 修士(児童学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	高瀬 弘樹 (46) <平成31年4月> 博士(人間科学)	心理学
兼任	講師	友田 義行 (39) <平成31年4月> 博士(文学)	アカデミックリテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	岩谷 力 (76) <平成31年4月> 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	金物 壽久 (69) <平成31年4月> 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅱ ※ ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	松房 利憲 (69) <平成31年4月> 修士(人間科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	伊原 巧 (72) <平成31年4月> 教育学修士	異文化理解
兼任	教授	熊本 圭吾 (50) <平成31年4月> 博士(障害科学)	情報リテラシー
兼任	教授	大町 かおり (49) <平成31年4月> 博士(障害科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	中島 八十一 (67) <令和2年4月> 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	教授	宮脇 利幸 (57) <令和3年4月> 博士(保健学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	山本 良彦 (56) <令和3年4月> 修士(児童学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	外里 富佐江 (87) <令和2年4月> 博士(障害科学)	人間発達学 ※
兼任	講師	高瀬 弘樹 (46) <平成31年4月> 博士(人間科学)	心理学
兼任	講師	友田 義行 (39) <平成31年4月> 博士(文学)	アカデミックリテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	岩谷 力 (77) <平成31年4月> 医学博士	総合医療論 ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	金物 壽久 (70) <平成31年4月> 医学博士	病理・病態生理学 病態・疾病治療論Ⅱ ※ 遺伝学・産科産科学 ※ ヒューマンケア論 ※
兼任	教授	松房 利憲 (70) <平成31年4月> 修士(人間科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW論 IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	伊原 巧 (73) <平成31年4月> 教育学修士	異文化理解
兼任	教授	熊本 圭吾 (51) <平成31年4月> 博士(障害科学)	情報リテラシー
兼任	教授	大町 かおり (50) <平成31年4月> 博士(障害科学)	ヒューマンケア論 ※ IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	中島 八十一 (68) <令和2年4月> 医学博士	病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	教授	宮脇 利幸 (58) <令和3年4月> 博士(保健学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	講師	山本 良彦 (57) <令和3年4月> 修士(児童学)	IPW演習Ⅰ IPW演習Ⅱ
兼任	教授	外里 富佐江 (88) <令和2年4月> 博士(障害科学)	人間発達学 ※
兼任	教授	福谷 保 (60) <令和2年4月> 博士(医学)	形態機能学Ⅱ ※
兼任	講師	高瀬 弘樹 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)	心理学

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		鈴木 俊太郎 (40) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		人間関係論 臨床心理学
兼任 講師		阿久津 昌三 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		文化人類学
兼任 講師		三谷 尚澄 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学Ⅰ 生命倫理
兼任 講師		村上 靖彦 (48) <平成31年4月> Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/ フラス
		哲学Ⅱ
兼任 講師		和田 恭良 (67) <平成31年4月> 法学士
		信州学
兼任 講師		北村 智佳子 (50) <平成31年4月> 芸術学士
		音楽
兼任 講師		茅野 恒秀 (40) <平成31年4月> 博士(政策科学)
		社会学
兼任 講師		高柳 充利 (44) <平成31年4月> Master of Arts マリア
		教育学
兼任 講師		関 良徳 (48) <令和2年4月> 博士(法学)
		日本国憲法・法学
兼任 講師		松岡 兼 (68) <平成31年4月> 工学博士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		松山 敏彦 (67) <平成31年4月> 理学士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		張 勇 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		中国語
兼任 講師		橋本 エリサ (65) <平成31年4月> 体育学修士
		スペイン語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		鈴木 俊太郎 (40) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		人間関係論
兼任 講師		阿久津 昌三 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		文化人類学
兼任 講師		三谷 尚澄 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学Ⅰ 生命倫理
兼任 講師		村上 靖彦 (48) <平成31年4月> Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フラス
		哲学Ⅱ
兼任 講師		和田 恭良 (67) <平成31年4月> 法学士
		信州学
兼任 講師		北村 智佳子 (50) <平成31年4月> 芸術学士
		音楽
兼任 講師		茅野 恒秀 (40) <平成31年4月> 博士(政策科学)
		社会学
兼任 講師		高柳 充利 (44) <平成31年4月> Master of Arts マリア
		教育学
兼任 講師		関 良徳 (47) <令和2年4月> 博士(法学)
		日本国憲法・法学
兼任 講師		松岡 兼 (68) <平成31年4月> 工学博士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		松山 敏彦 (67) <平成31年4月> 理学士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		張 勇 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		中国語
兼任 講師		橋本 エリサ (65) <平成31年4月> 体育学修士
		スペイン語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		阿久津 昌三 (65) <平成31年4月> 博士(社会学)
		文化人類学
兼任 講師		三谷 尚澄 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学Ⅰ 生命倫理
兼任 講師		村上 靖彦 (49) <平成31年4月> Docteur en psychopathologie fondamentale et psychanalyse/フラス
		哲学Ⅱ
兼任 講師		和田 恭良 (68) <平成31年4月> 法学士
		信州学
兼任 講師		北村 智佳子 (51) <平成31年4月> 芸術学士
		音楽
兼任 講師		茅野 恒秀 (41) <平成31年4月> 博士(政策科学)
		社会学
兼任 講師		高柳 充利 (45) <平成31年4月> Master of Arts マリア
		教育学
兼任 講師		関 良徳 (48) <令和2年4月> 博士(法学)
		日本国憲法・法学
兼任 講師		松岡 兼 (69) <平成31年4月> 工学博士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		松山 敏彦 (68) <平成31年4月> 理学士
		自然科学の基礎 ※
兼任 講師		張 勇 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		中国語
兼任 講師		橋本 エリサ (66) <平成31年4月> 体育学修士
		スペイン語 ※

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 比沙子 (40) <平成31年4月> 修士(韓国文化)
		ハングル
兼任	講師	田邊 愛子 (43) <平成31年4月> 修士(医学)
		体育学
兼任	講師	藤田 育郎 (35) <平成31年4月> 修士(体育学)
		体育(実技)
兼任	講師	池田 千鶴子 (64) <平成31年4月> 専門学校卒
		代謝栄養学 ※
兼任	講師	三井 由香 (51) <平成31年4月> 博士(歯学)
		代謝栄養学 ※ 形態機能学Ⅰ ※ 形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	森泉 哲次 (67) <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	福島 菜奈恵 (46) <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	北村 義浩 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※ 微生物・感染症学
兼任	講師	野池 光子 (69) <平成31年4月> 学士(教養)
		基礎看護技術Ⅰ ※
兼任	講師	柴田 美恵子 (49) <令和2年4月> 専門学校卒
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	若林 雅人 (53) <令和2年4月> 博士(医学)
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	西村 博行 (71) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	金木 利通 (57) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	板倉 慈法 (51) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 比沙子 (40) <平成31年4月> 修士(韓国文化)
		ハングル
兼任	講師	田邊 愛子 (43) <平成31年4月> 修士(医学)
		体育学
兼任	講師	藤田 育郎 (35) <平成31年4月> 修士(体育学)
		体育(実技)
兼任	講師	池田 千鶴子 (64) <平成31年4月> 専門学校卒
		代謝栄養学 ※
兼任	講師	三井 由香 (51) <平成31年4月> 博士(歯学)
		代謝栄養学 ※ 形態機能学Ⅰ ※ 形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	森泉 哲次 (67) <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	福島 菜奈恵 (46) <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	北村 義浩 (58) <平成31年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※ 微生物・感染症学
兼任	講師	野池 光子 (70) <平成31年4月> 学士(教養)
		基礎看護技術Ⅰ ※
兼任	講師	柴田 美恵子 (48) <令和2年4月> 専門学校卒
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	若林 雅人 (52) <令和2年4月> 博士(医学)
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	西村 博行 (70) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	金木 利通 (56) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	板倉 慈法 (50) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 比沙子 (41) <平成31年4月> 修士(韓国文化)
		ハングル
兼任	講師	田邊 愛子 (44) <平成31年4月> 修士(医学)
		体育学
兼任	講師	藤田 育郎 (36) <平成31年4月> 修士(体育学)
		体育(実技)
兼任	講師	池田 千鶴子 (65) <平成31年4月> 専門学校卒
		代謝栄養学 ※
兼任	講師	三井 由香 (52) <平成31年4月> 博士(歯学)
		代謝栄養学 ※ 形態機能学Ⅰ ※ 形態機能学Ⅱ ※ 形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	森泉 哲次 (68) <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	福島 菜奈恵 (47) <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学Ⅲ ※
兼任	講師	野池 光子 (71) <平成31年4月> 学士(教養)
		基礎看護技術Ⅰ ※
兼任	講師	柴田 美恵子 (49) <令和2年4月> 専門学校卒
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	若林 雅人 (53) <令和2年4月> 博士(医学)
		薬理学・服薬管理論 ※
兼任	講師	西村 博行 (71) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	金木 利通 (57) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※
兼任	講師	板倉 慈法 (51) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療Ⅰ ※

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜 善久 (57) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	本郷 実 (67) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	和食 正久 (69) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	遊木 正俊 (53) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	横山 史朗 (60) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	小池 健一 (69) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	齋木 寛 (73) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	飯島 富士雄 (69) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	浅輪 史朗 (51) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	中島 崇樹 (45) <令和2年4月> 博士(歯学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	外里 富佐江 (67) <令和2年4月> 博士(障害科学)
		人間発達学 ※
兼任	講師	林 邦彦 (63) <令和2年4月> 保健学博士
		疫学 保健統計学
兼任	講師	越智 康詞 (57) <令和2年4月> 修士(教育学)
		健康社会学
兼任	講師	島崎 謙治 (65) <令和2年4月> 博士(歯学)
		保健医療福祉行政論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜 善久 (56) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	本郷 実 (66) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	和食 正久 (68) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	遊木 正俊 (52) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	横山 史朗 (59) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	小池 健一 (68) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	齋木 寛 (72) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	飯島 富士雄 (68) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	浅輪 史朗 (50) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	中島 崇樹 (44) <令和2年4月> 博士(歯学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	林 邦彦 (62) <令和2年4月> 保健学博士
		疫学 保健統計学
兼任	講師	越智 康詞 (56) <令和2年4月> 修士(教育学)
		健康社会学
兼任	講師	島崎 謙治 (64) <令和2年4月> 博士(歯学)
		保健医療福祉行政論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜 善久 (57) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	本郷 実 (67) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅰ ※
兼任	講師	和食 正久 (69) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ
兼任	講師	遊木 正俊 (53) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	横山 史朗 (60) <令和2年4月> 博士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	小池 健一 (69) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	齋木 寛 (73) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	飯島 富士雄 (69) <令和2年4月> 医学博士
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	浅輪 史朗 (51) <令和2年4月> 学士(医学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	中島 崇樹 (45) <令和2年4月> 博士(歯学)
		病態・疾病治療論Ⅱ ※
兼任	講師	林 邦彦 (63) <令和2年4月> 保健学博士
		疫学 保健統計学 ※
兼任	講師	越智 康詞 (57) <令和2年4月> 修士(教育学)
		健康社会学
兼任	講師	島崎 謙治 (65) <令和2年4月> 博士(歯学)
		保健医療福祉行政論 ※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・井部教授は付帯事項（遵守事項）により「看護教育論」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
- ・田中教授は付帯事項（遵守事項）により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
- ・宮越准教授は付帯事項（遵守事項）により「保健ボランティア」を追加。平成30年12月AC教員審査済。
- ・兼任の宮脇准教授が、令和元年度に教授に変更。
- ・兼任の山本助教が、令和元年度に講師に変更。
- ・「人間発達学」は兼任の福田教授退職も後引き続き兼任講師として担当。
- ・「人間発達学」は兼任の外里講師が引き続き兼任教授として担当。平成30年2月AC教員審査済。
- ・兼任の鈴木講師が前期で辞任したことにより、後期の「臨床心理学」を兼任の羽田講師に変更。

【令和2年度】

- ・三橋助教辞任。後任については、令和2年3月AC教員審査のための専任教員採用等設置計画変更書提出済。
- ・また、「形態機能学Ⅱ」について、AC審査までの間、兼任の福谷教授と兼任の三井講師とのオムニバス方式に変更。
- ・小林助教就任辞退。後任については、令和2年5月AC教員審査のための専任教員採用等設置計画変更書提出予定。
- ・兼任の友田講師辞任により、「アカデミックリテランシー」を兼任の杉山講師に変更。
- ・兼任の鈴木講師辞任により、「人間関係論」「臨床心理学」を兼任の羽田講師に変更。
- ・兼任の橋本講師の本務の都合により、「スペイン語」を兼任のミランダ講師とのオムニバス方式に変更。
- ・兼任の北村講師の辞任により、「病態疾病治療論Ⅰ」を兼任の高松講師に変更。
- ・また、「微生物・感染症学」を兼任の金物教授、兼任の増淵講師及び水内講師のオムニバス方式に変更。
- ・兼任の林講師の本務の都合により、「保健統計学」を兼任の井手野講師とのオムニバス方式に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	3	4	9	23	5	7	3	3	3	16	1
(5)	(2)	(1)	(3)	(11)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	3	4	7	21	5	7	3	4	9	23	5
[0]	[0]	[0]	[Δ2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{23} = \boxed{91.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{16} = \boxed{18.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	助教	小林 明日香	R2.2	必修	母性看護学方法論	③	R2.2一身上の都合のため就任辞退（2）						
				必修	母性看護学実習	③							
				必修	統合実習	③							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	3	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	助教	三橋 陽平	R2.3	必修	形態機能学Ⅱ	②	R2.3.31付け一身上の都合のため辞任（2）						
				必修	基礎看護技術論Ⅱ	③							
				必修	統合演習	③							
				必修	看護課題探求	③							
				必修	基礎看護技術実習	③							
				必修	看護展開論実習	③							
				必修	成人看護学実習Ⅱ	③							
				必修	統合実習	③							
必修	ヒューマンケア体験実習	③											
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	1	科目	必修	8	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	1	科目	計	8	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）							
2	人	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	1	科目	必修	11	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	0	科目	計	1	科目	計	11	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{23} = 8.69 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				
合計			後任補充状況の集計			
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	: 0	科目	必修	: 0	科目
	選択	: 0	科目	選択	: 0	科目
	自由	: 0	科目	自由	: 0	科目
	計	: 0	科目	計	: 0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の助教に係る担当科目については、開講学年に達していないため支障はない。後任については令和2年5月にAC教員審査書を提出した。(2)

辞任した助教の担当科目である「形態機能学Ⅱ」は、当面、兼担教員と兼任教員により対応しており、後任については既にAC教員審査中である。他の担当科目は共同又はオムニバス方式であるため、学生への履修等に影響は無いものとする。学生に対しては、審査終了後ホームページ上の教員一覧に掲載するとともに、適宜教員紹介を行い周知する。(2)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	「保健ボランティア」及び「看護教育論」については補正申請において助教単独で実施されることと変更されているが負担が大きいと思われるため、より職位の高い専任教員を担当に加えて科目実施体制の充実を図ること。	「保健ボランティア」は令和元年度から准教授、助教、兼任講師の体制とし、令和2年度から教授、准教授、助教の体制とした。「看護教育論」は担当の助教に教授を加えた。どちらも共同授業として30年12月AC教員審査により可とされ、科目実施体制の充実を図った。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)			履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)			履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□□年)			履行中

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ファカルティ・ディベロップメント（FD）・スタッフ・ディベロップメント（SD）委員会を設置。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SD委員会は、毎月1回の委員会を開催。必要に応じて臨時委員会を開催。</p> <p>c 委員会の審議事項等 教員の教育活動の向上・能力開発及び職員を含めた全教職員の資質向上に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議する。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>ア 新任教職員研修、教職員研修、年間計画の立案（所掌事項確認を含む）</p> <p>イ 授業評価アンケートを前期と後期に分けて実施</p> <p>ウ 業績報告会の開催</p> <p>b 実施方法</p> <p>ア 新任教職員研修、教職員研修は、本学本館会議室において実施。</p> <p>イ 新任研修では、学長による本学の教育理念・教育課程等について講話。 学生部長による「ハラスメントについて」の講演。</p> <p>ウ 教職員研修は、外部講師による「ハラスメント」講演会を実施。</p> <p>エ 学部相互、事務局の理解を深めるために、業績報告会を実施。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>ア 令和元年度はFD・SD委員会を11回開催、教員3～5名、事務局1名の参加により開催した。</p> <p>イ 新任教員研修会を平成31年4月3日に本学本館会議室において教職員39名の参加により開催した。</p> <p>ウ 教職員研修会「ハラスメント」を令和2年1月29日に教職員42名の参加により開催した。</p> <p>エ 業績報告会を令和2年3月4日に南館教室において教職員46名参加により開催。 研究、教育、社会貢献、委員会、大学に対する意見等について演者を募り15名が発表。</p> <p>オ 新任教職員研修を令和2年4月3日に本館会議室において教職員39名の参加により開催した。</p> <p>カ 令和2年度はFD・SD委員会を令和2年4月8日に、教員5名、事務局1名の参加により開催した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業アンケート、教職員全員による業績報告会を参考として、各教員が自主的に他の教員の授業を参観することにより授業改善に取り組んでいる。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>ア 令和元年度前期授業評価アンケート 前期授業終了時期に22科目で実施</p> <p>イ 令和元年度後期授業評価アンケート 後期授業終了時期に専任教員担当の全科目で実施。</p>

b 教員や学生への公開状況、方法等

ア 前期アンケート結果に担当教員コメントを付して9/17～9/27の期間中に閲覧可能とした。

イ 後期アンケート結果に担当教員コメントを付して3/23～4/3の期間中に閲覧可能とした。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学学則第2条及び第45条に基づき、本学の教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うため、「自己点検・評価委員会」を設置している。この委員会は、学長、学部長、学科長、学生部長、図書館長、事務局長等により構成する。各点検・評価項目については、定められた担当が実施し、委員会では全体的な点検・評価を行い報告書としてとりまとめる。
この委員会では、令和元年度の報告書を作成中。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和3年3月 公表(令和元年度報告書)

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和3年3月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価に向けて、7月申請予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和2年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [令和2年6月30日 ※毎年同時期]

c 公表方法 [ホームページへの掲載]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。